



神話を訪ねて 北郷町  
新説・海幸彦と山幸彦の物語

絵：赤星たみこ



神話の国・宮崎



絵  
赤星たみこ



宮崎には天孫降臨の神話があります。天孫降臨とは、神様が地上へ降りてくることです。

その昔、ニニギノミコトという神様が、天(空)にある神様の国から地上に降りてきたといわれています。

このとき降りてきた場所は、高千穂町とも、高原町の高千穂峰ともいわれています。



このニニギノミコトは、西都市の都萬神社の近くで、コノハナサクヤヒメという美しい女性と出会い、結婚しました。

二人の子どもとして生まれたのが、ホデリノミコト、ホスセリノミコト、ホオリノミコト(ヒコホホデミノミコト)という三人の神様でした。



兄のホデリノミコトは海幸彦、弟のホオリノミコトは山幸彦と呼ばれていました。





兄の海幸彦は海で魚釣りをするのが得意な、弟の山幸彦は山で狩りをするのが得意な神様でした。あるとき、おたがいの仕事を取りかえてみたところ、山幸彦は兄から借りた釣り針をなくしてしまいました。

海幸彦に怒られ、許してもらえなかった山幸彦は、途方にくれて、浜辺でしくしく泣いていました。すると、そこへ通りかかったおじいさん（シオツチの神）が、ワタツミノオオカミ（海の神）の宮殿を訪ねるよう勧めたのです。



山幸彦はワタツミノオオカミの宮殿を訪ね、ここでワタツミの娘トヨタマヒメと出会います。二人は恋に落ちて結婚しました。

ワタツミノオオカミの宮殿で夢のような三年を過ごし、なくなった釣り針も見つかり、山幸彦は故郷に帰ることにしました。山幸彦が帰り着いたのが宮崎市の青島だといわれています。



兄の海幸彦と再会した山幸彦は、釣り針を返すとき、ワタツミノオオカミに教えられたとおり、兄が貧乏になる呪文をかけました。数年のうちに兄は本当に貧乏になってしまい、怒って山幸彦を攻めてきました。山幸彦はワタツミノオオカミからもらった二つの珠の一つを使って、まず洪水を起こし兄をおぼれさせ、兄が降参すると、山幸彦はもう一つの珠を使って洪水を止めて兄を助けました。助けられた海幸彦は、弟の家来になることを誓いました。その後は兄弟は仲直りをして、仲良く暮らしたということです。



伝承によると、洪水が起きたとき、海幸彦は鰐船という船に乗って波間をただよひ、北郷町へ流れ着きました。北郷町には海幸彦を主祭神として祀る全国唯一の神社といわれる潮嶽神社があります。山幸彦は天皇家の祖となり、海幸彦は隼人族の祖となったといわれています。





その後、山幸彦のもとにワタツミノオオカミの宮殿からトヨタマヒメが訪ねてきて、「二人の子どもがもうすぐ生まれます」と告げました。

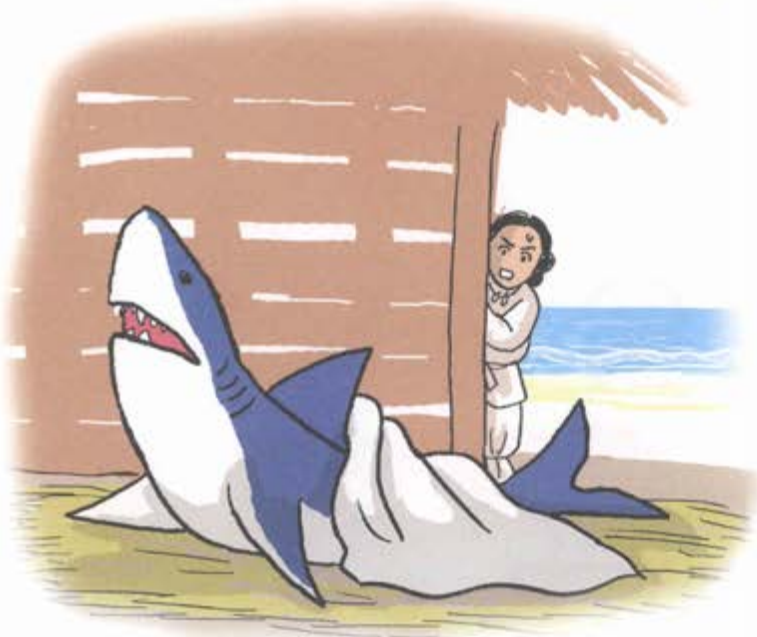
山幸彦は鳥の鶴の羽で産屋を建てようと思いましたが間に合いません。

トヨタマヒメは造りかけの産屋に入り、「私が子どもを生む姿は決して見ないでください」と頼みました。

しかし、山幸彦は好奇心に負けて産屋の中をのぞき、そこにトヨタマヒメが大きなサメの姿になってお産をしている姿を見てしまいます。

トヨタマヒメは姿を見られたことを大変恥ずかしく思い、子どもを残してワタツミノオオカミの宮殿に帰ってしまいました。

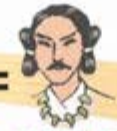
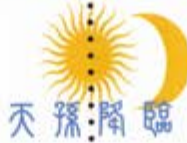
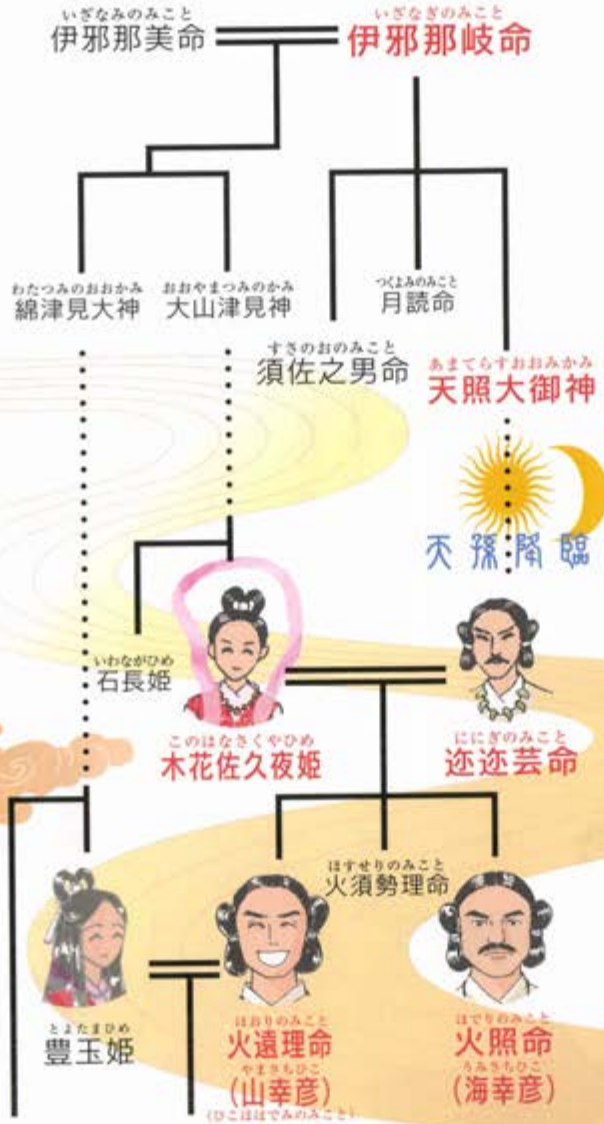
このとき生まれたのが、ウガヤフキアエズノミコトという神様です。生まれた場所は日南市の鶴戸神宮だといわれています。



ウガヤフキアエズノミコトの子ともとして生まれたのが神武天皇です。神武天皇の住まいは宮崎神宮(宮崎市)のあたりだったといわれています。神武天皇は四十五歳のとき、全国統一をめざして日向市の美々津港から船で旅立っていったと伝えられています。

昔から、神様がいらっしゃるところや天皇のことを「宮」といいますが、「宮崎」という名前も、そうした宮のさき(前)に人が集まり、住み始めたことからついたといわれています。

# 神々の系図



たまよりひめ 玉依姫 = うがやふきあえずのみこと 鵜葺草葺不合命



あひらつひめ 阿比良姫 = かむやまといわれりのみこと 神倭伊波礼毘古命 (神武天皇)

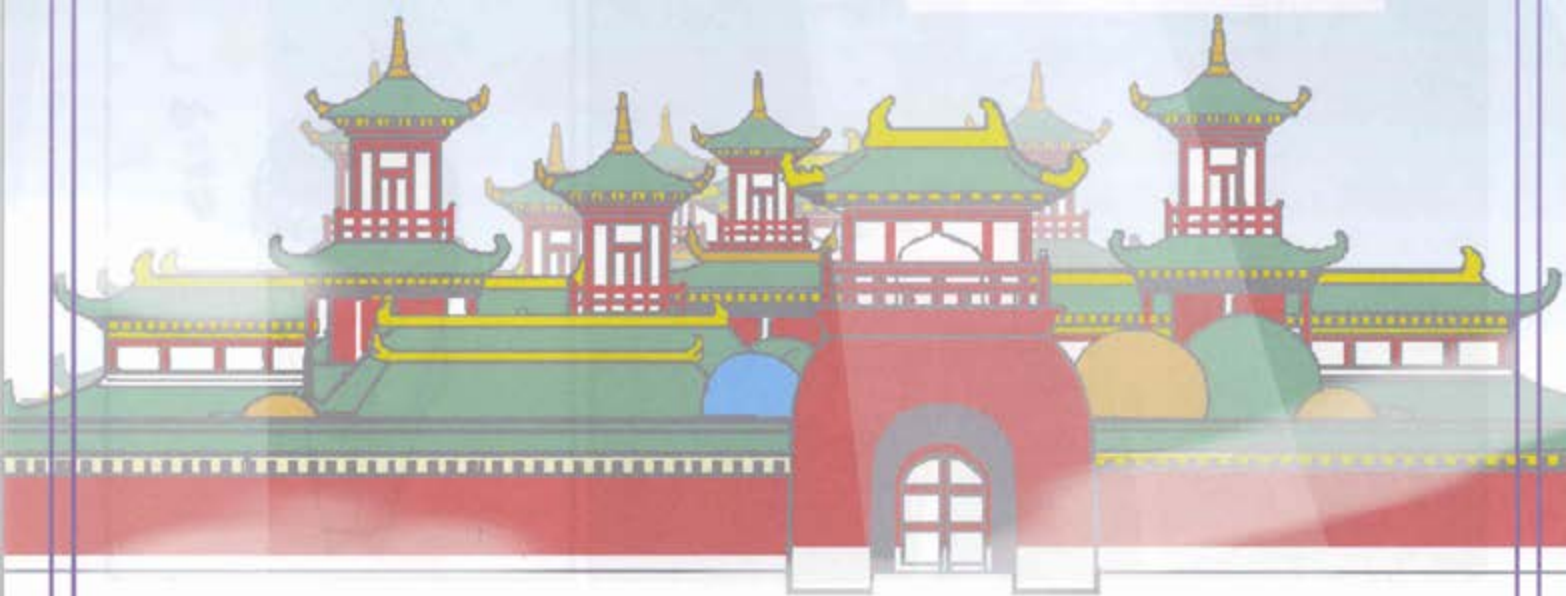
## 宮崎県 神話MAP





新説・海幸彦と山幸彦の物語

赤星たみこ akaboshi, tamiko





神話を訪ねて  
やってきました  
宮崎県北郷町！



あつ私  
宮崎県出身の  
マンガ家  
赤星たみこです



今回は  
海幸彦・山幸彦の話を  
紹介する  
ナビゲーターを  
つとめます  
どうぞよろしく  
お願いします

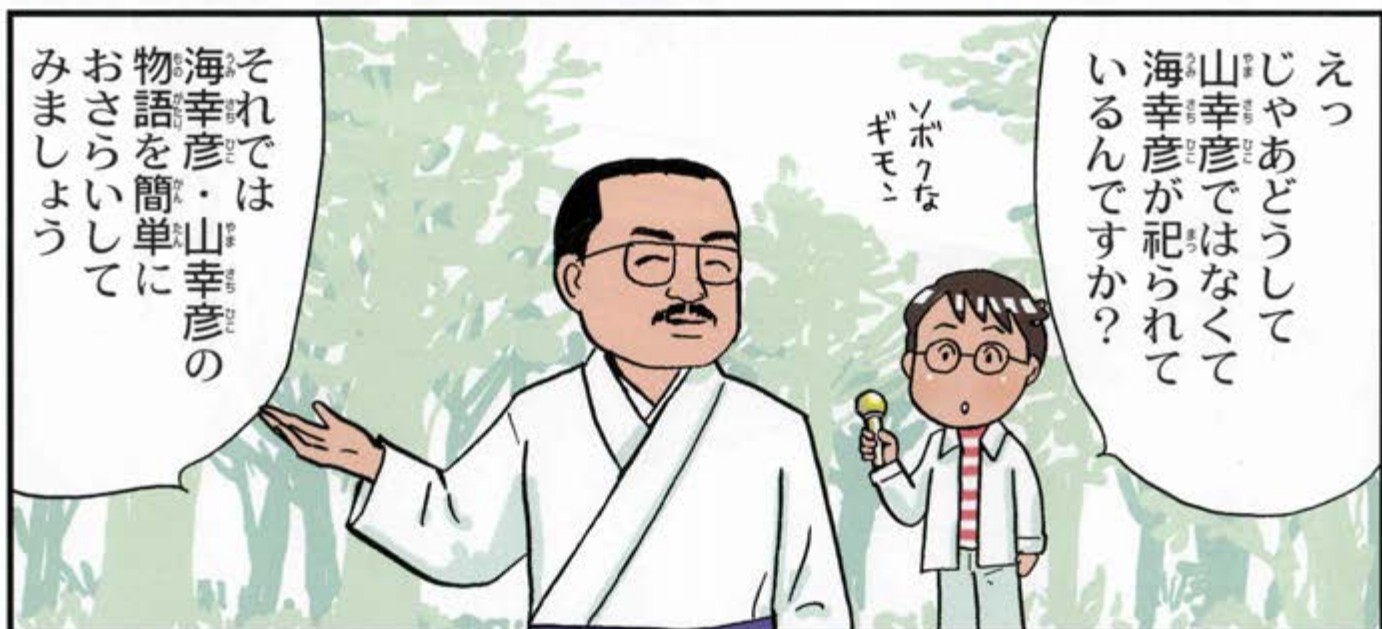
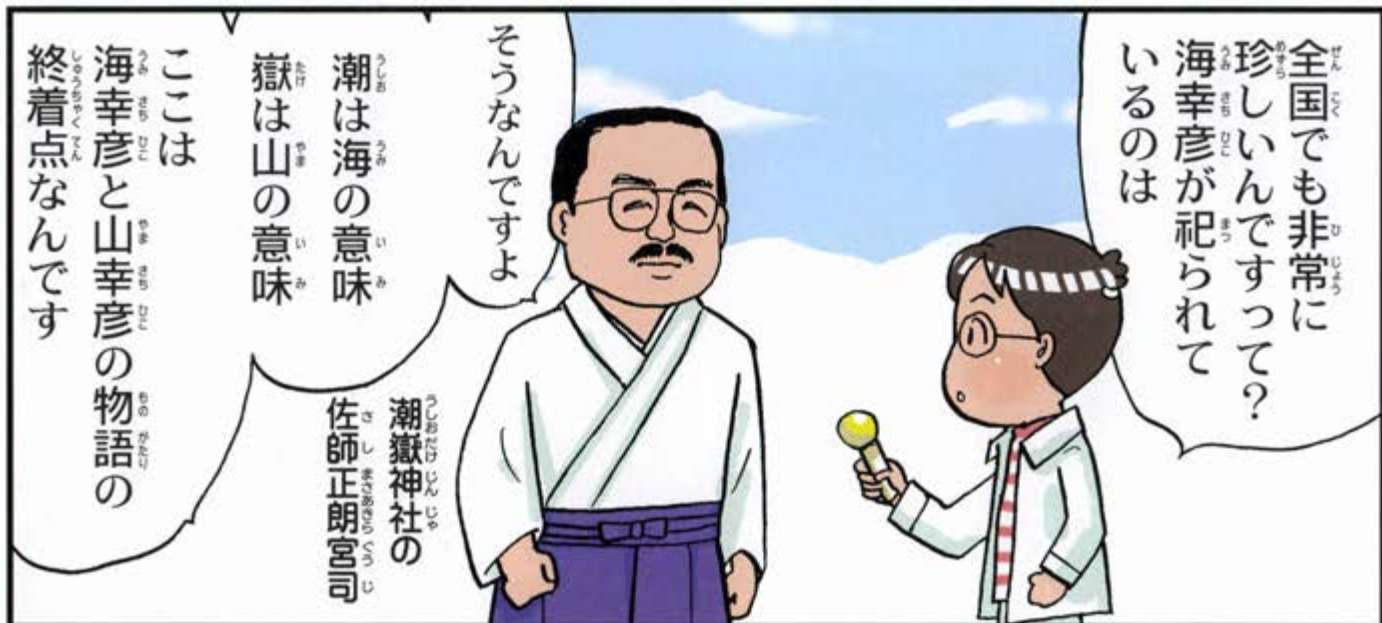


パツリ

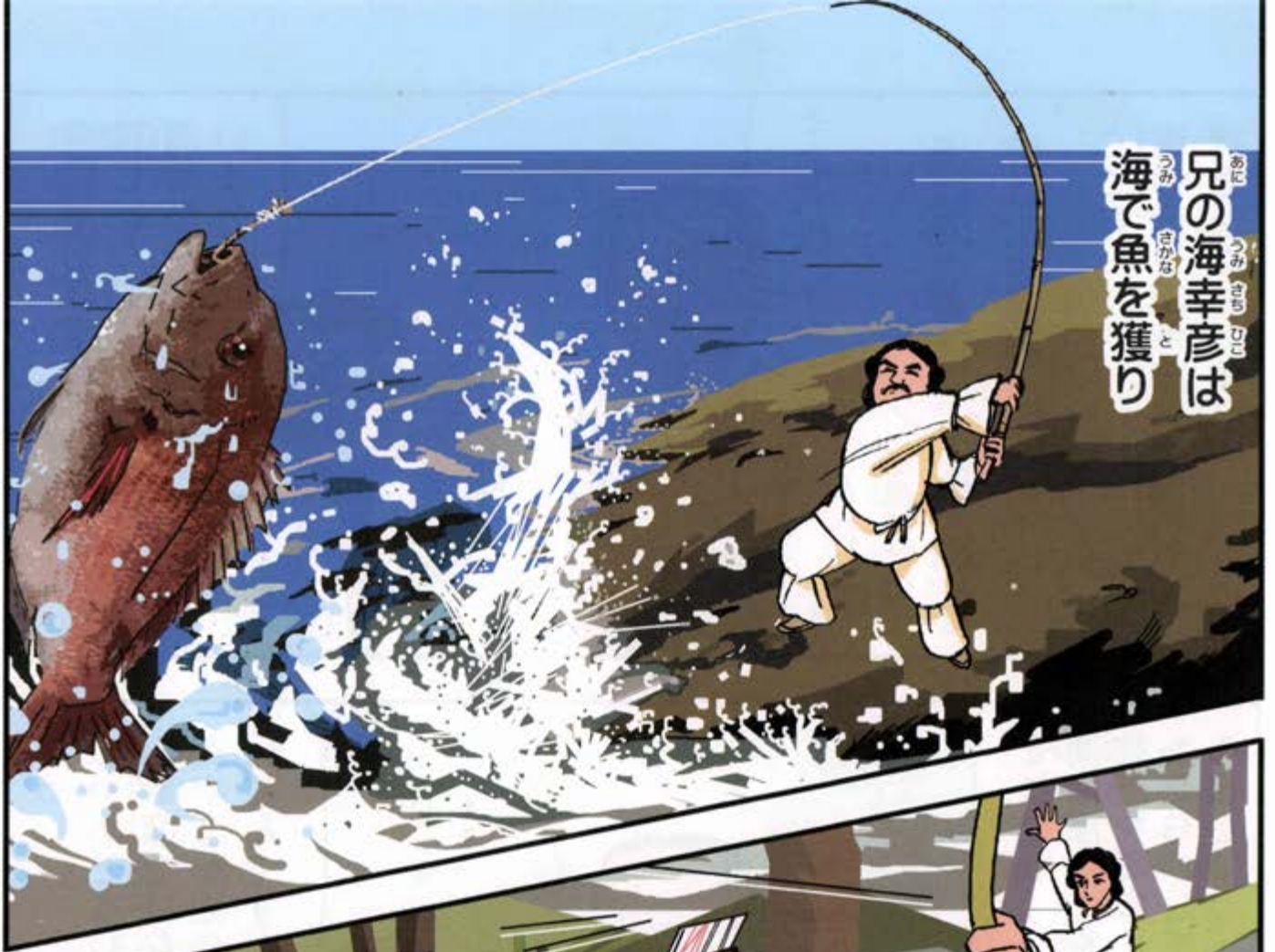
さて  
北郷町には  
潮嶽神社という  
海幸彦を祀った  
神社があります



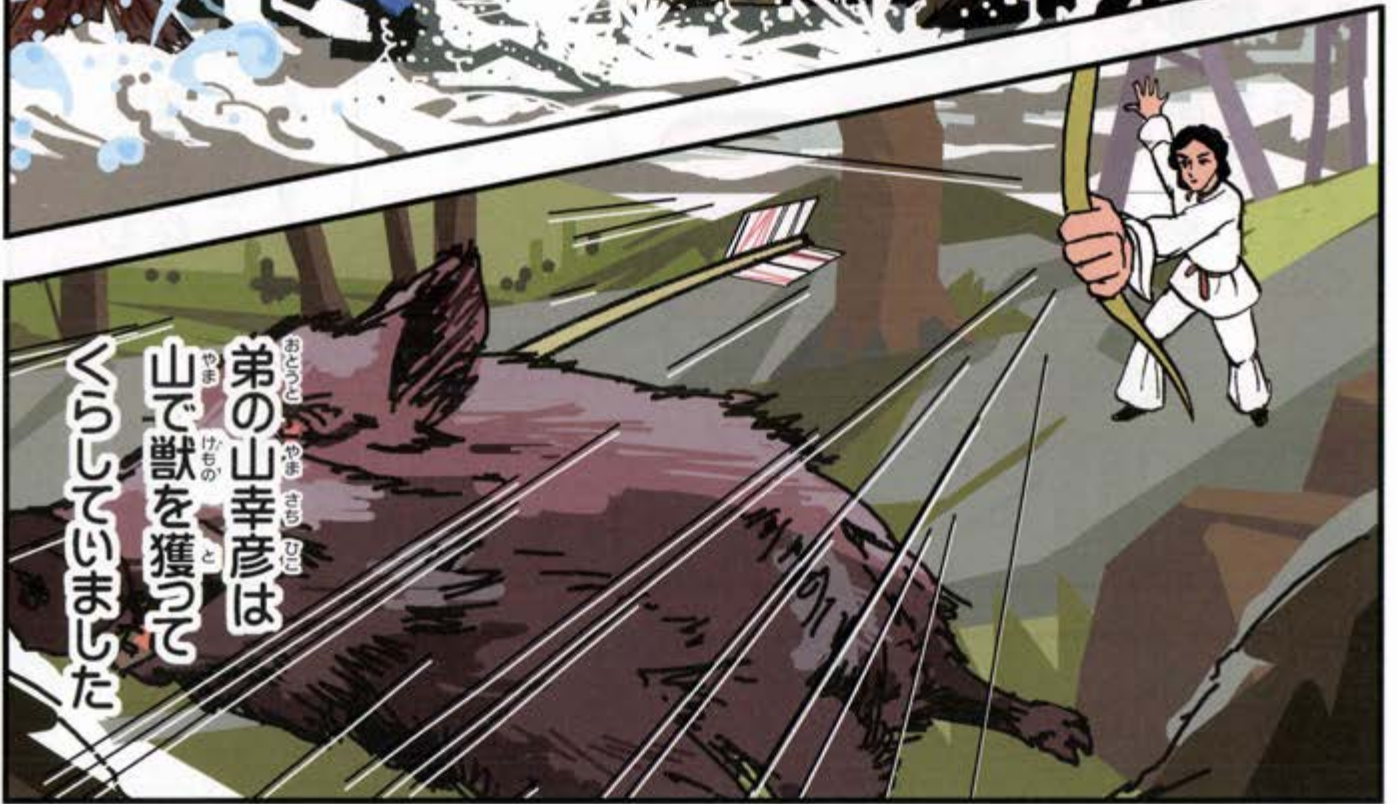








兄の海幸彦は  
海で魚を獲り



弟の山幸彦は  
山で獣を獲って  
くらしていました



ある日  
弟の山幸彦が  
兄にたのみごとを  
しました

兄さんの  
釣り針と  
私の弓矢を  
一日だけとりかえて  
もらえませんか？





弟は釣り針を探しに行き  
ワタツミの宮で  
3年すごしてから  
針を見つけて  
もどってきます



あつ  
このあと弟は  
兄の釣り針を  
紛失するん  
ですよ  
そのとおり  
です



しかしその戦いに破れ  
流れ着いたのが  
この潮嶽神社と  
いわれているのです



弟は兄の海幸彦に  
針を返したのだけど  
兄は今までより  
魚が獲れなくなったと  
怒り  
弟の山幸彦のところへ  
攻め込みます



うーん  
なんかこう  
納得のいかない  
話なんですよねー  
これって

えっ？



疑問はたくさんあるんですが

私の最大の疑問は



山幸彦が

ワタツミの宮で

トヨタマヒメと出会って

結婚し

3年も楽しく

くらしただのに

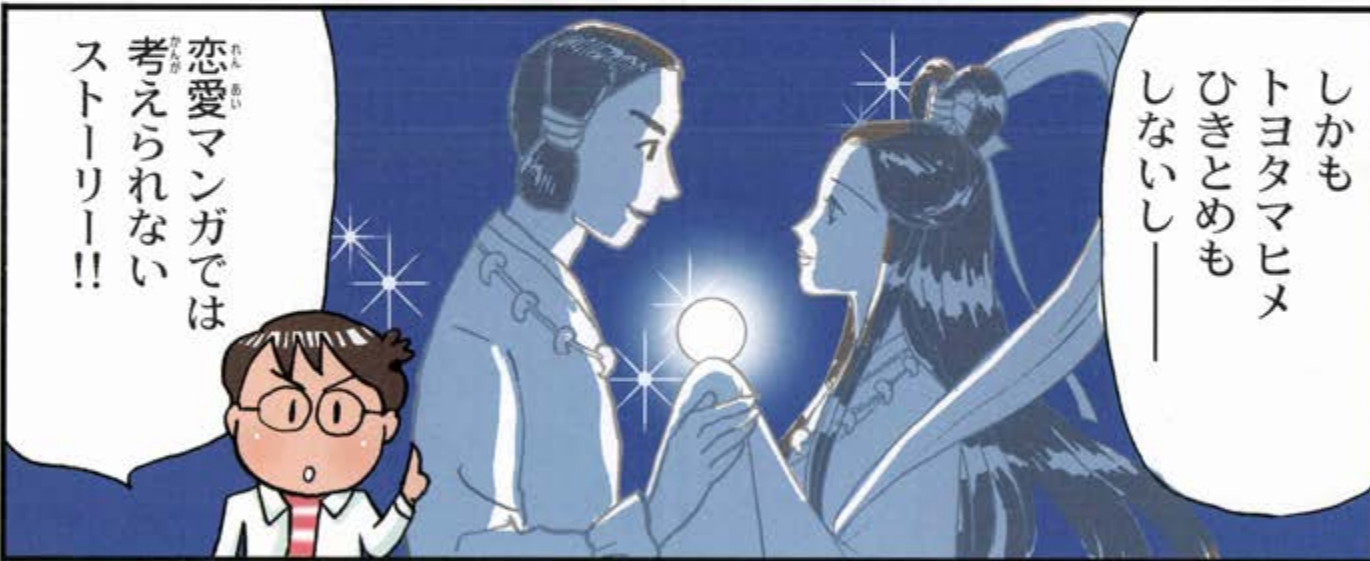
なぜ急に

帰ろうとしたのか!?



しかもトヨタマヒメひきとめもしないし――

恋愛マンガでは考えられないストーリー!!



というワケでワタクシこの謎を解くべく果敢にチャレンジしてみました!

カモーン!

さあ!

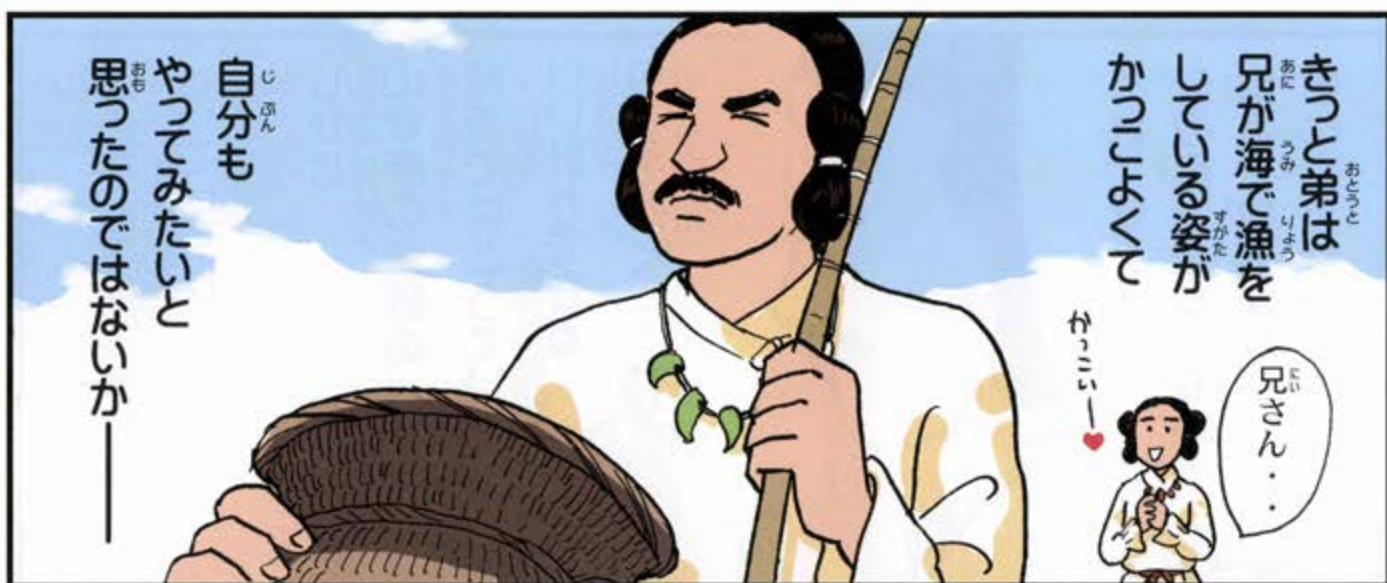
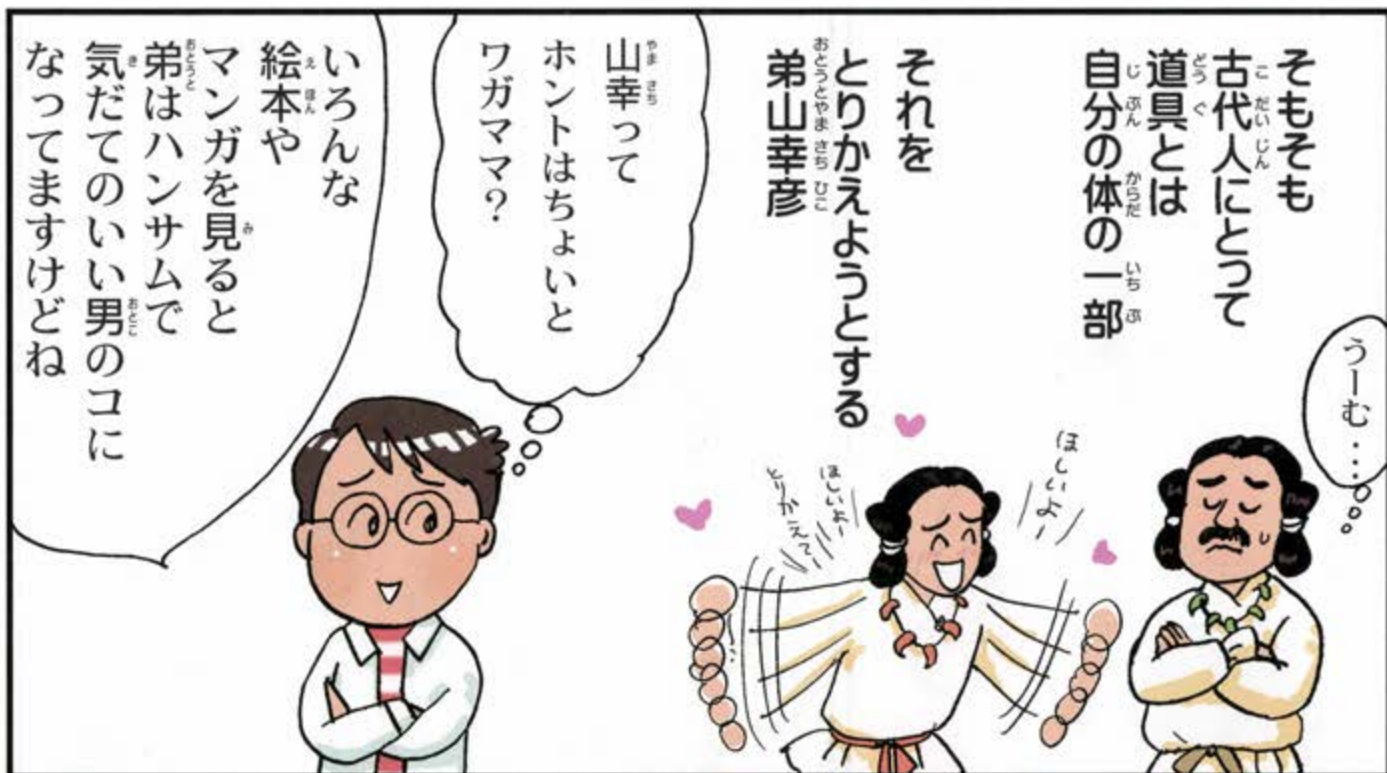
赤星たみこの

新説・海幸彦へ

レッツゴー!



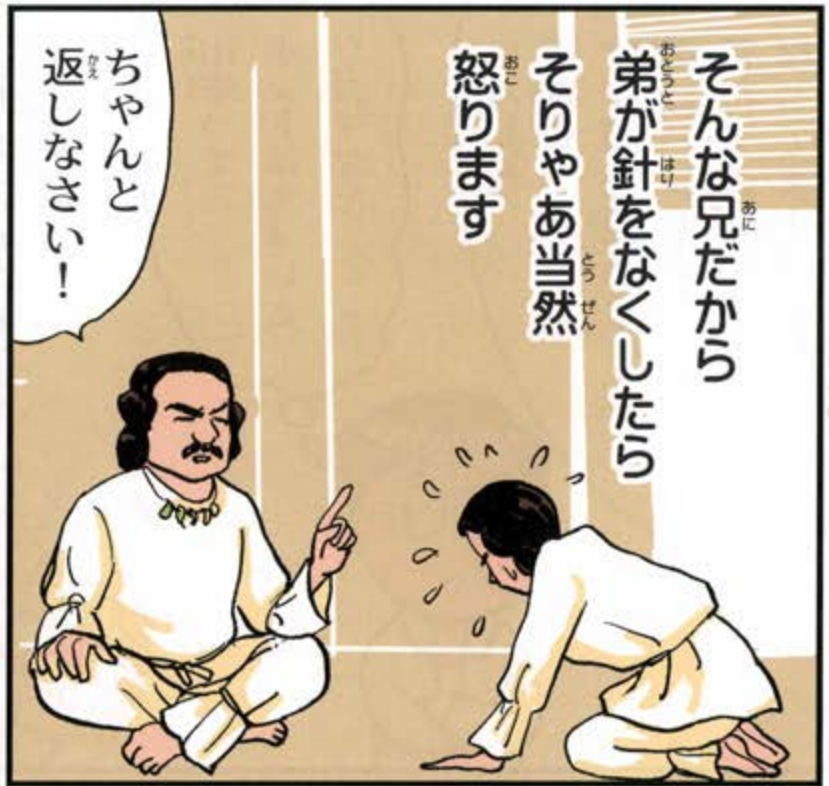








反省した弟は  
自分の刀をつぶして  
針をつくり



そんな兄だから  
弟が針をなくしたら  
そりゃあ当然  
怒ります

ちやんと  
返しなさい！



兄のもよく  
もつていくけど……

しかし  
山幸彦の製鉄の  
技術ではどうして  
いい針ができる  
ワケもなく……

これではダメだ！  
元の針と同じくらいの  
固さと鋭さがないと  
役に立たないのだ



海幸彦に  
ダメ出しされた  
弟は  
元の針と同じ強度の  
針を作るべく

製鉄の技術を  
学びに  
旅に出た



と考えると  
ツジツマが  
合ってくるん  
です！



山幸彦は  
生まれ育った  
宮崎から  
いったいどこへ  
行ったのか…



神話では  
無間勝間の小船

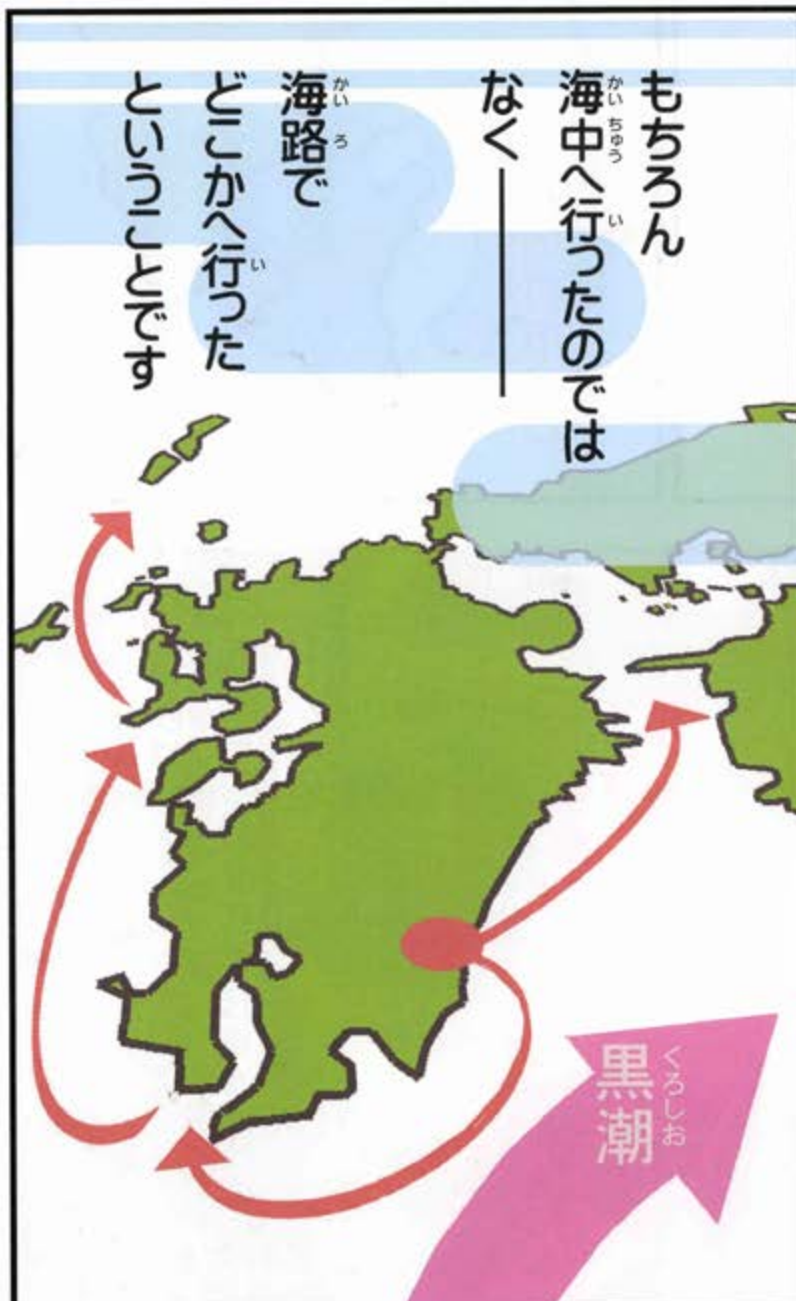
（すきまなく竹を編んで作った  
小さな籠の船）

に乗って海中へ行く  
ことになっていますが



もちろん  
海中へ行ったのでは  
なく——

海路で  
どこかへ行った  
ところじゃです





近くななり  
鹿児島県指宿あたりへ  
行ったのではないか

いじは  
※たまの跡があるので  
可能性は高い！



※たまの井とは

ワタシミの宮の  
入り口近くに  
ある

井戸

山幸彦は

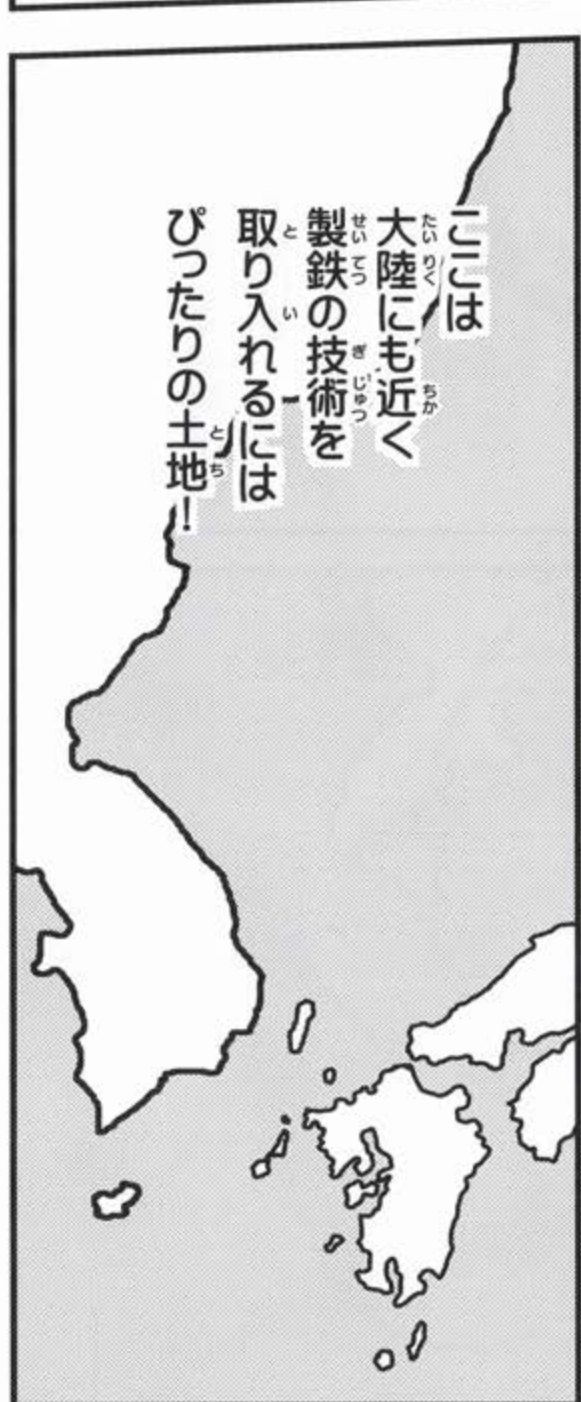
この井戸の近くの木に  
登ってトヨタマヒメを  
待っていたといわれている



山幸彦は  
ここで釣り針を作る技術を  
教わったのでは  
ないか







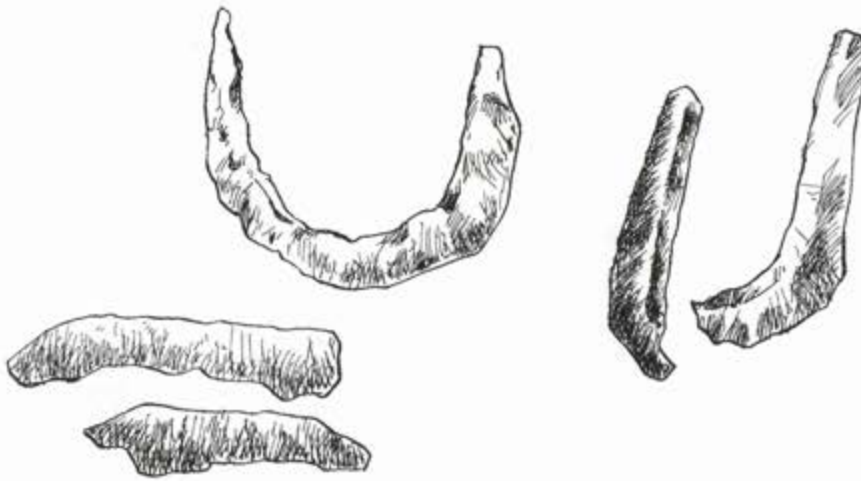


日本で見つかっている  
最も古い鉄器は  
縄文時代晩期  
(紀元前3〜4世紀)  
のもので

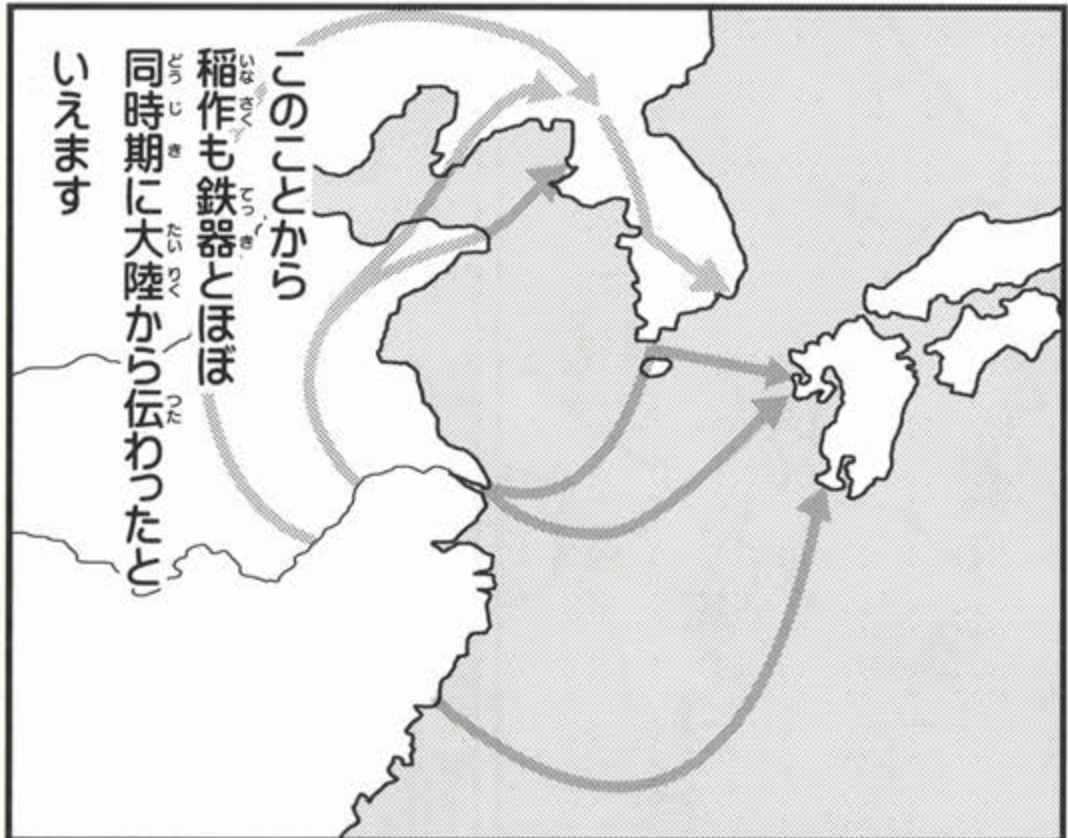


福岡県糸島郡二丈町の  
石崎曲り田遺跡から出土  
しています

また日本では  
鉄器が  
稲作農耕の始まった時期から  
石器と共に使われて  
いたことが  
わかっています



このことから  
稲作も鉄器とほぼ  
同時期に大陸から伝わったと  
いえます



つまり!!



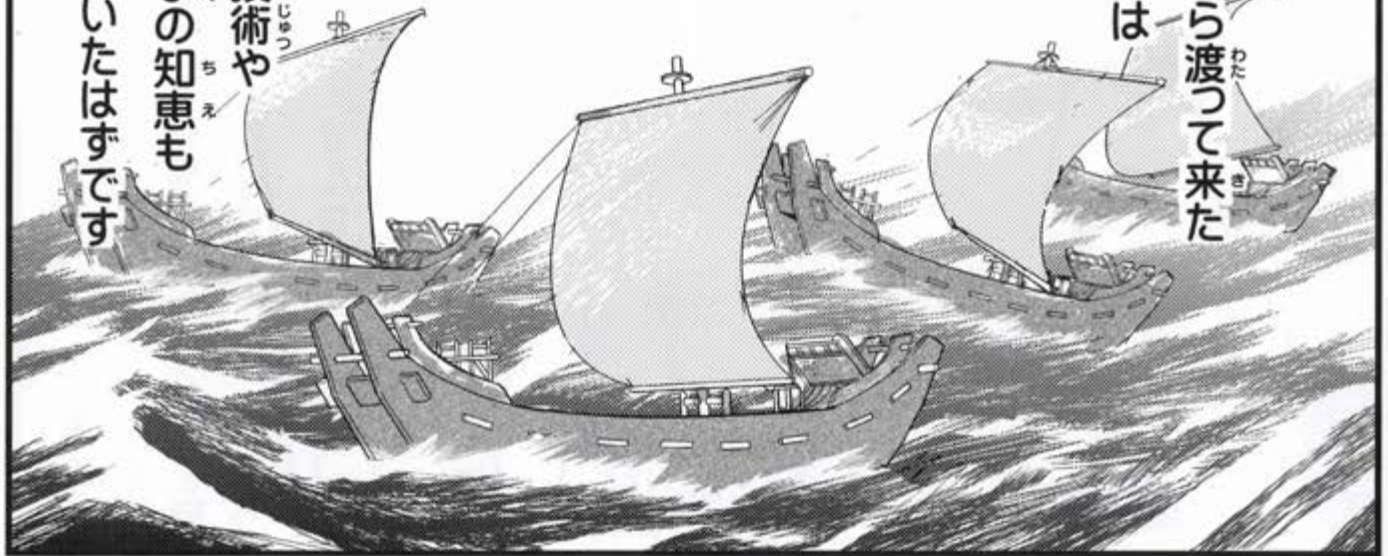


山幸彦は  
釣り針を作る  
技術とともに  
稲作の技術も  
学んだのでは  
ないか!?



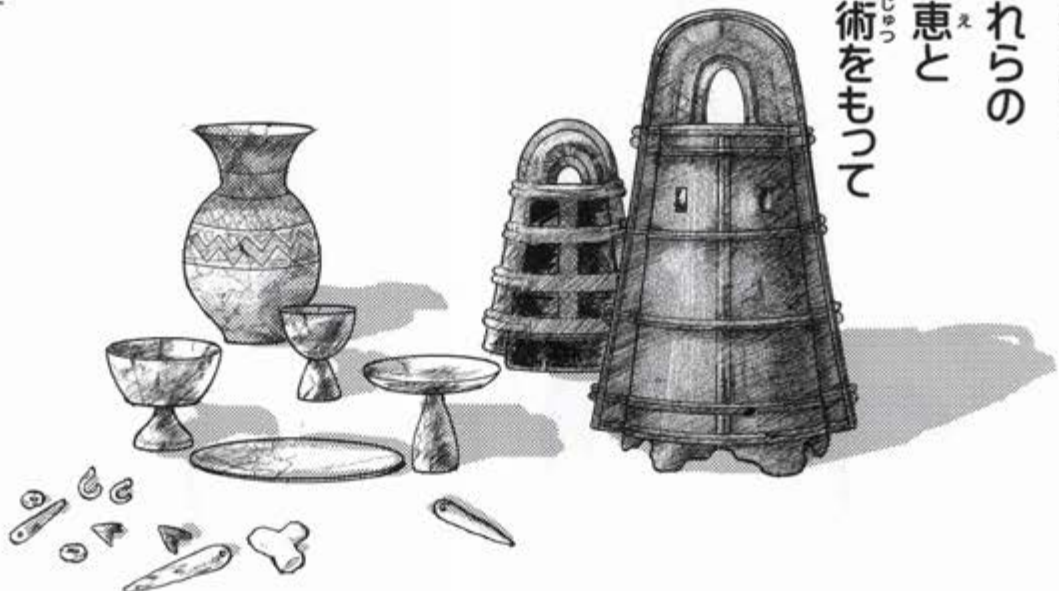
そして  
大陸から渡って来た  
人たちは  
当然

航海技術や  
気象学の知恵も  
もっていたはずだ



山幸彦は  
それらの  
知恵と  
技術をもつて

兄のもとへ  
帰ったのです!







3年もの間  
使いやすい釣り針を  
なくしていた海幸彦

生活は  
困窮しています



おお  
山幸彦!!

今もどりました!!

兄さん!!

また今日も  
少ししか  
とれなかった

あのとき  
山幸彦に  
針を貸さねば  
よかった...

じっと見る...

ええ  
むこうの  
ハヤリで...



ずいぶん  
変わったな  
ひげとか







おお！  
ようやく  
もってきて  
くれたか！！  
助かる！



約束通り  
ちゃんとした針を  
もって帰りました  
お納めください！



ちよつと  
お待ちを！

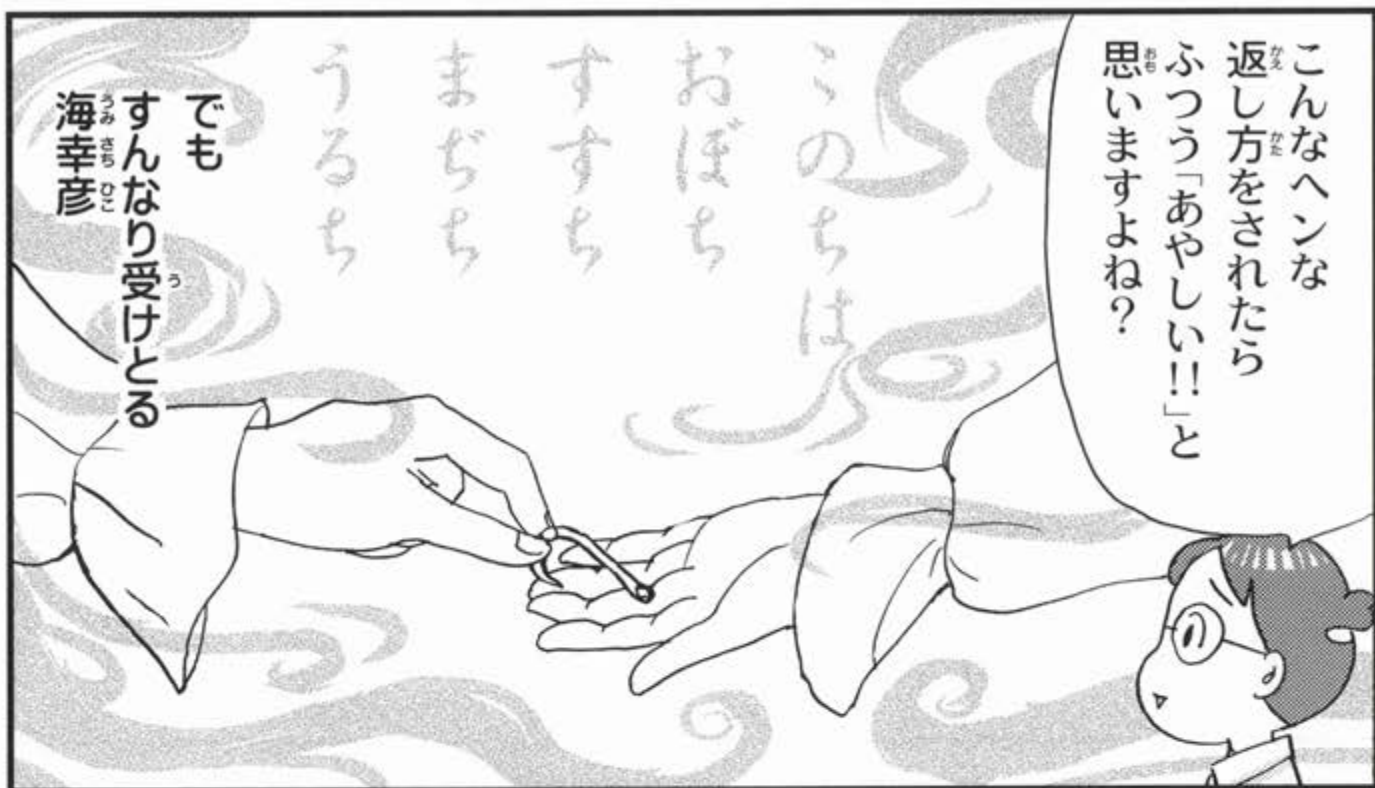
このちは  
おぼち  
すすち  
まぢち  
うるち



と山幸彦が  
後ろ手で  
釣り針を返す  
シーンですが

「この針は  
ぼんやりして  
すさんでいて  
貧しくて  
おろかだ」  
という歌まで  
歌いながら  
返しています





こんなヘンな  
返し方をされたら  
ふつう「あやしい!!」と  
思いますよね?

このちは  
おぼち  
すすち  
まぢち  
うるち

でも  
すんなり受けとる  
海幸彦



子どもの頃  
この話を読んで

なぜ!  
なぜこんな  
ヘンな返され方をして  
疑われないワケ!?  
おかしいじゃん!!

と思った  
ものです



この釣り針返却シーンが  
私にとって納得いかない  
シーンのひとつ  
でしたが

ここでまた  
赤星の新解釈を!



昔の日本では  
魔除けのため  
わざと悪い意味の言葉を  
幼名に使う風習が  
ありました

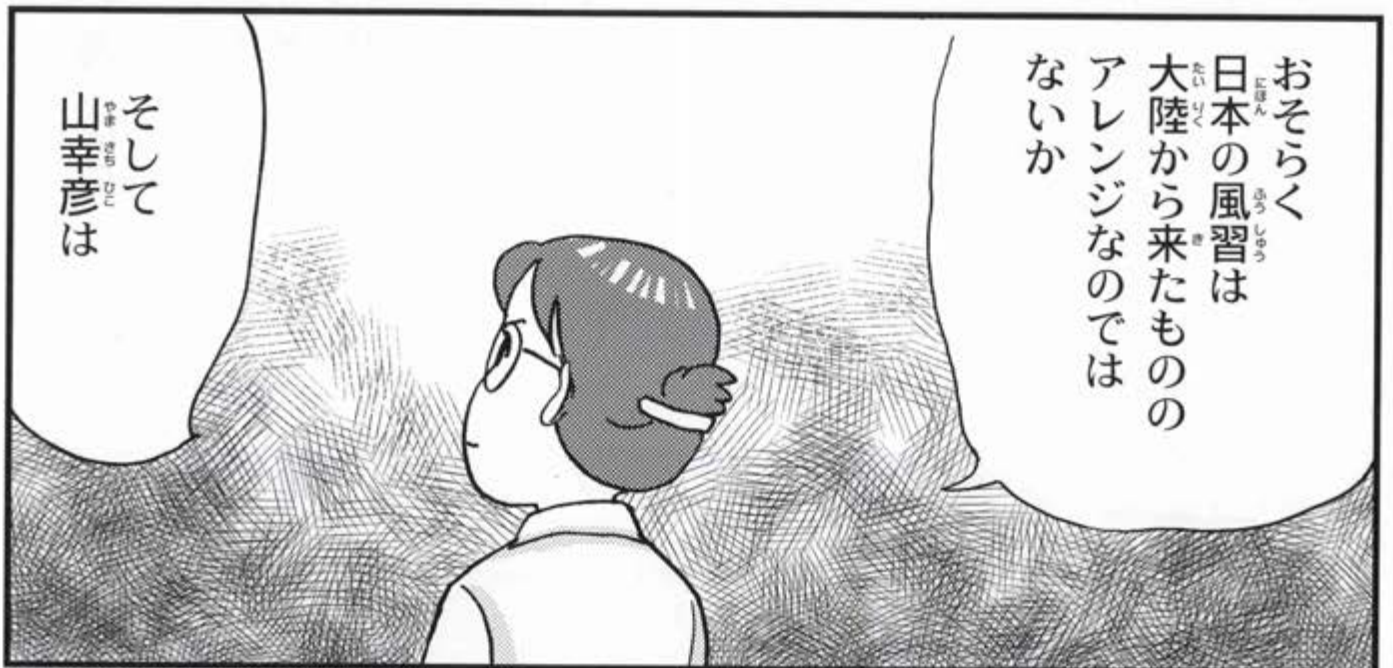
例  
牛若丸の「丸」は糞のこと  
人間のいやなものを名につけると  
魔物もいやがるので魔除けに  
なると考えられていた

それと同じく  
大陸——韓国では  
厄災を避けるために  
わざと悪い意味の文字を  
名前に使うことがあります



おそらく  
日本の風習は  
大陸から来たものの  
アレンジなのでは  
ないか

そして  
山幸彦は





3年間  
大陸伝来の  
知恵や技術や  
文化にふれてきた  
のです



とても  
大陸ナイズ  
されているように  
いい感じ

なんだその  
返し方は!?

兄の海幸彦が  
不審がつても

兄さん!

これが大陸風なんです!  
厄災をさけるために  
わざとやってるんです

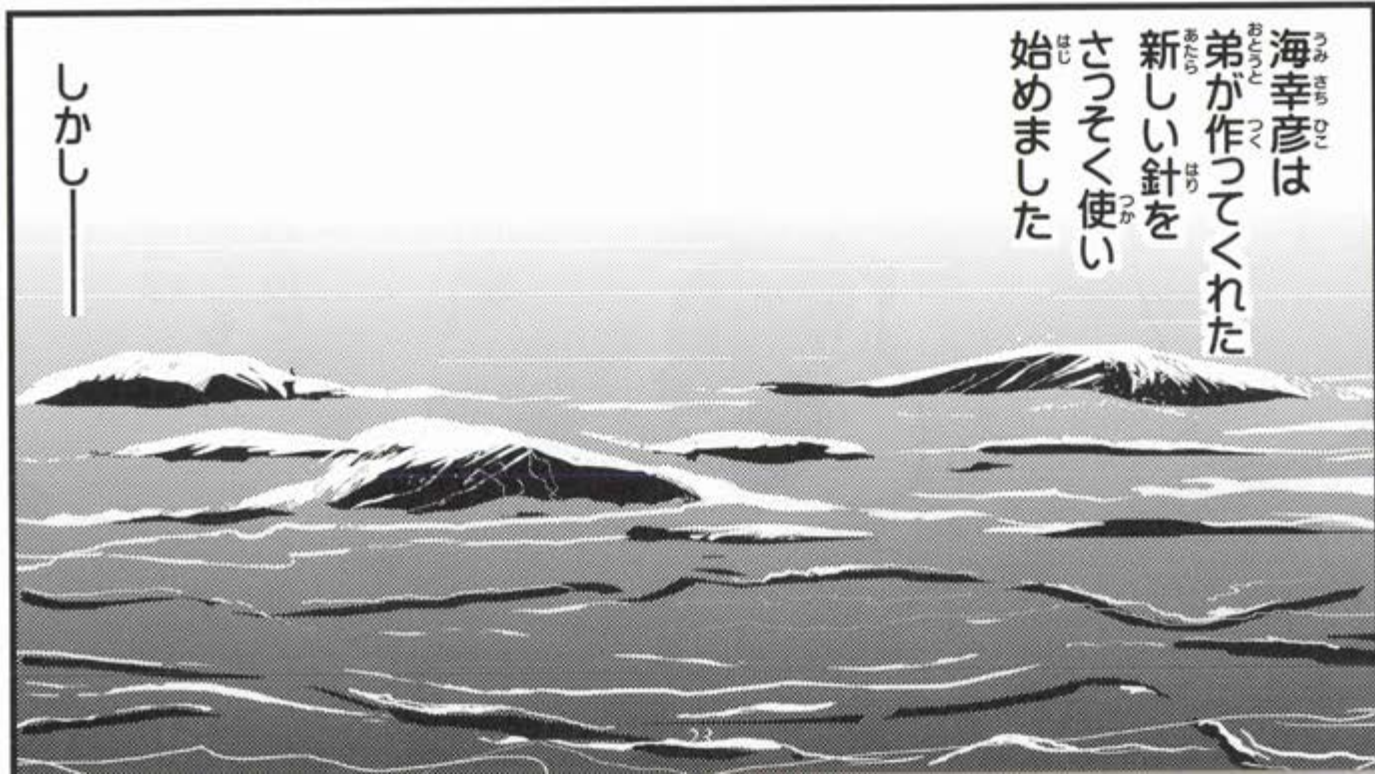
と説明したかもしれません

これならすんなり  
ナットク!



海幸彦は  
弟が作ってくれた  
新しい針を  
さっそく使い  
始めました

しかし——





道具が変わると  
慣れるまで時間が  
かかります

うーん

新しい針でも  
まだ釣れない…

焦る海幸彦



おまけに  
3年間絶不調だった  
せいで畑の手入れも  
おろそかになっていたし  
…



働いても働いても  
生活は苦しい…

また  
じっと  
手を見る…

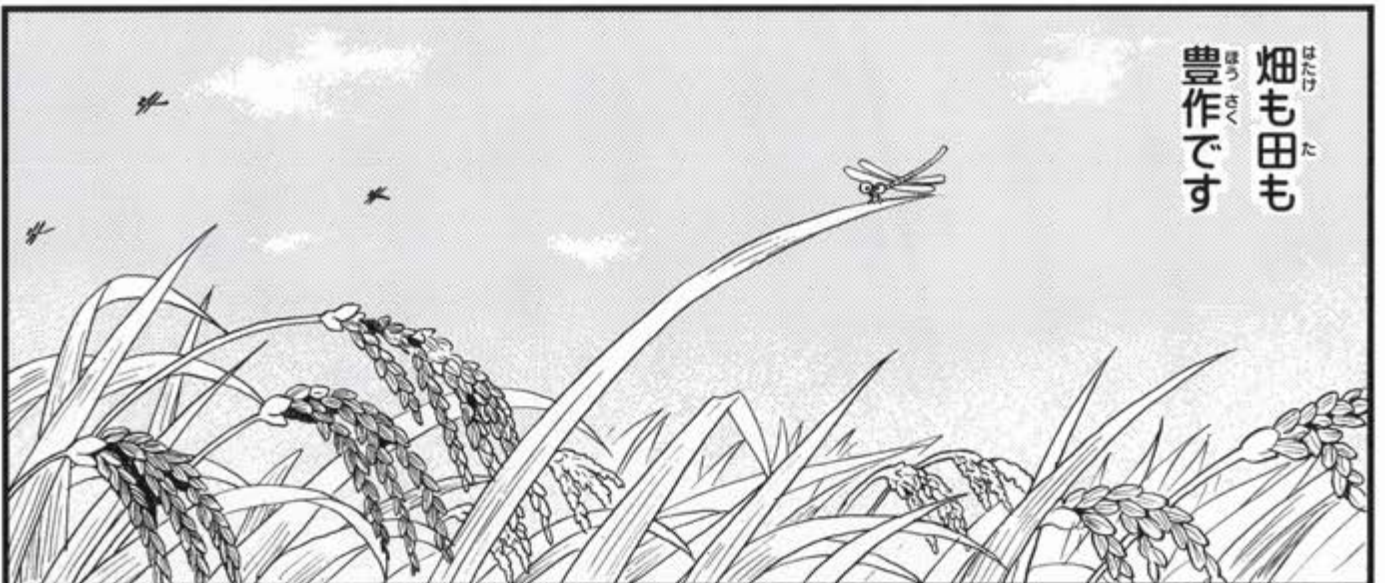
ところが  
弟の方は

最新の気象学で  
天候を読み

また  
新しい農業技術の  
おかげで



畑も田も  
豊作です





生活苦から

海幸彦は

しだいに

弟へのうらみを

つのらせでこらえたのでは

ないでしようか？

そもそも  
あいつが針を  
とりかえようと  
言ったのが始まりだ！

しかも  
返すとき  
ヘンな返し方  
してたしな！





潮満珠を  
海へひたすと

突然  
潮が満ちあふれ  
ました!

わあああ

た…たすけて  
くれ〜!!

今度は  
こっちだ!

山幸彦は  
潮干珠を  
使って

潮を引かせ  
兄を  
助けました

げほ  
げほ





海幸彦は  
何度か弟のところへ  
攻め込みますが

そのこと  
洪水や日照りで  
打ち負かされて  
しまいます

やはりこれは  
台風銀座宮崎  
ならではのストーリーー!!

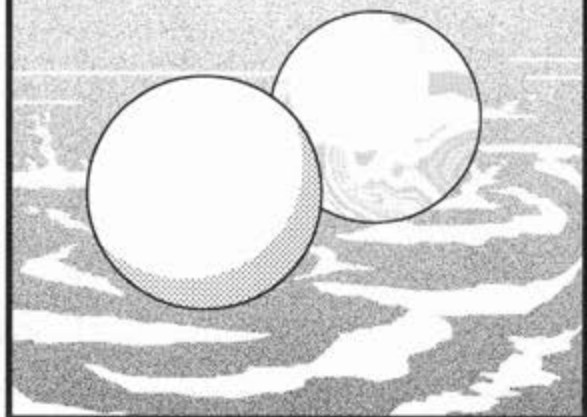


海幸彦が攻めてきたとき  
兄弟の明暗を分けたのは  
台風という  
自然の猛威だったのでは  
ないでしょうか?

気象学を  
知っていた山幸彦に  
勝機があったのは  
当然のこと



また  
この潮満珠と  
潮干珠は  
潮の満ち引きを  
あやつる珠という  
ことになっていますが

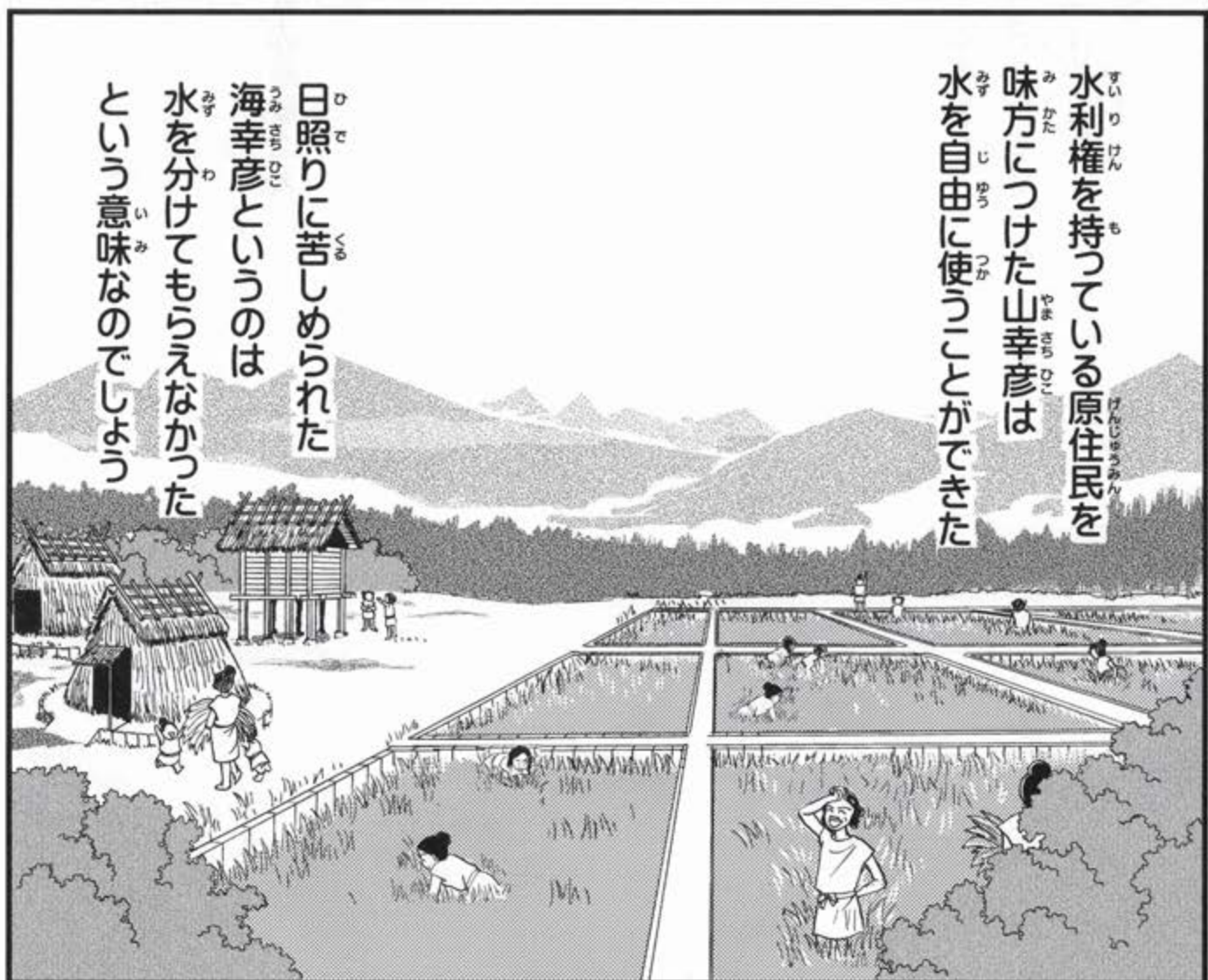


実は  
水利権のことではないかと  
梅原猛さんが  
考察しています



水利権を持つている原住民を  
味方につけた山幸彦は  
水を自由に使うことができた

日照りに苦しめられた  
海幸彦というのは  
水を分けてもらえなかった  
という意味なのでしょう





そう考えると  
海幸彦が  
弟に攻め込んだ  
というのは  
当然のこととして  
理解できます

山幸彦よ！  
どうして私に  
水を使わせない  
のだ！！

しかし攻めるたびに  
弟・山幸彦が勝ったのは



山幸彦はきつと  
大陸伝来の…  
武器を持つて  
いたのでは？

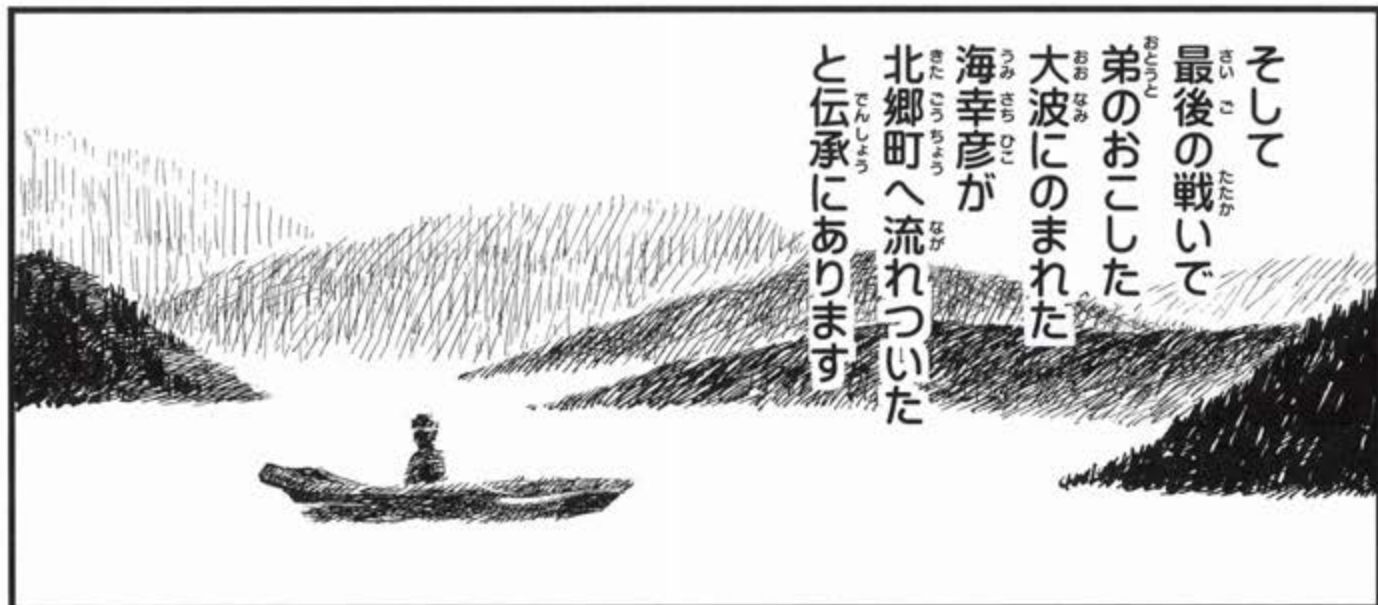


古代人にとって  
刃物の切れ味が  
ちよつと違うだけで  
戦の勝敗は大きく  
変わります

大陸伝来の  
さまざまな知恵や  
武器をもち  
地元の民を味方につけた  
弟・山幸彦に  
兄は負けたのです







そして  
最後の戦いで  
弟のおこした  
大波にのまれた  
海幸彦が  
北郷町へ流れついた  
と伝承にあります



海のない北郷町に  
たどりついた  
海幸彦は



北郷町は海に  
面してないんだけど  
山幸彦に追われて  
来たことの  
比喩なんでしょうね



この地に  
潮獄神社を  
建立します

潮と獄…

この名前にこそ  
遠くはなれた  
海を想う  
海幸彦の気持ちが  
こめられています



神社の  
東側の山に潮越山  
南側の山に越潮山  
と名づけたのも  
海への強い望郷の念が  
あったからでしょう



と考えると  
海幸彦  
すつごく  
かわいそう！



この土地では  
海幸彦山幸彦の  
物語から来る  
おもしろい風習が  
あるんですよ



この地域では  
針や縫い針の  
貸し借りを  
決してしない  
のです









この地に来た  
海幸彦の子孫が  
ハヤトとなった…  
と日本書紀  
古事記にあります



ハヤトという民は  
叫ぶ声が  
犬の遠吠えに  
似ていたと  
いいます

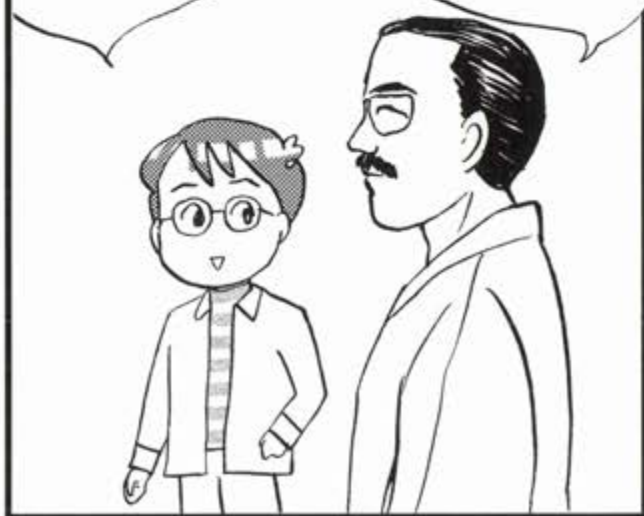


この地域では  
犬はハヤトを  
意味します  
からね



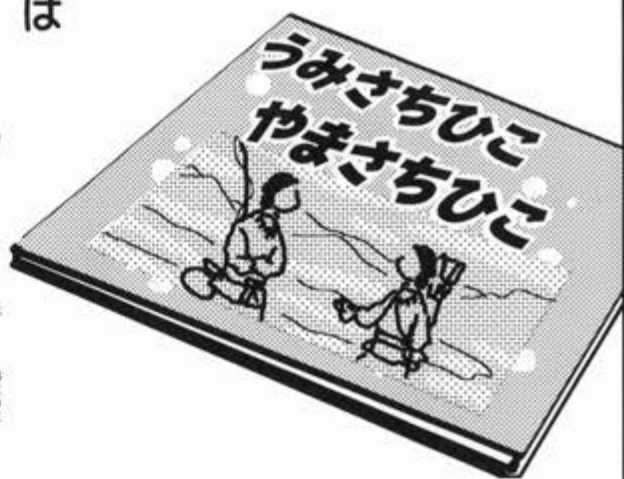
海幸彦の  
子孫であることを  
誇りに思っているん  
ですね

北郷町では  
海幸彦の物語が  
本当に根づいているん  
ですねえ…





幼いころ  
サラリと読んだ  
海幸彦と  
山幸彦の物語



多くは  
ハンサムで気だての良い弟が  
横暴な兄をこらしめる  
という話になっています

でも  
海幸彦は  
こらしめられるような  
悪いことを  
したのかなあ…？



この物語は

いくつかの民族が  
戦い

征服され

そして

国が大きくなっていった  
というストーリーです

それを思つて

新たに

この物語を読むと

海幸彦の実像が

全く別の形となつて

浮かび上がってきます





新説・海幸彦と山幸彦の物語  
いかがでしたでしょうか



私は宮崎出身でありながら

海幸彦のこと詳しいことは何も

知りませんでした

おはずかしい

神話つてむずかしい…

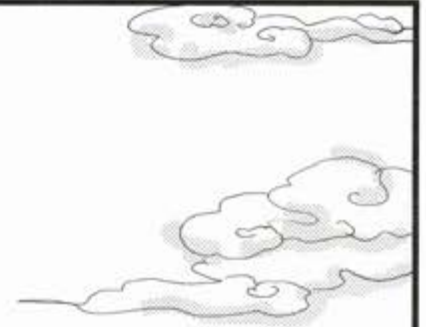
と思ひ込んでいたし



今回色々調べて  
私なりの解釈で  
マンガにしてみました

神話に対する考え方が

180度変わりました!



神話を

人の歴史に

てらしあわせて

読み直すと

大きな発見や

おもしろさ

があります



みなさんも  
ぜひ  
宮崎に来て  
歴史再発見して  
くださいね!





# 神話を訪ねて 北郷町 新説・海幸彦と山幸彦の物語

2008年3月28日 初版発行

2009年3月6日 2版発行

著者……赤星たみこ

©2008 Tamiko Akaboshi

ブックデザインはにわ広告事務所

発行……財団法人北郷町温泉観光協会

〒889-2492 宮崎県南那珂郡北郷町大字郷之原乙1477

TEL.0987-55-2111 FAX.0987-55-3332

<http://www.town.kitago.miyazaki.jp>

印刷……有限会社 富士写真印刷

■ご協力いただいた方々

佐師 正朗 氏 (蒲原神社宮司)

甲斐 亮典 氏 (宮崎県文化財保護審議会会長)

永井 哲雄 氏 (宮崎県文書センター 主席運営職員)

赤星たみこプロフィール

1957年宮崎県生まれ。79年講談社「mimi」でマンガ家デビュー。現在は、青年誌、総合誌を問わず、あらゆるタイプのマンガで幅広い層に支持されている。映画化、テレビ化された作品も多数。また「健康」「エコロジー」についてのエッセイや漫画も多く、各地での講演も大好評。

●職歴・経歴/現在は、オフィス・ユー「グラマ」、健康雑誌「しゃきつと」など、その他多数連載中。また、テレビでドラマ化された作品も多く「恋はいつもアモンドピンク」「恋の街☆東京」「別れたら好きな人」等、いずれも高視聴率をマーク。執筆のほかに、多忙な仕事でゴミだしがままならないことから始めた、ゴミを少なくする工夫や、趣味で始めたエコロジーが高じて、今では環境問題を考える講演会でもひっぱりだこ。わかりやすくてためになると大好評である。合成洗剤をすべてやめ、石けんだけの生活をしている。粉石けんで真っ白に洗い上げる洗濯術を説き、石けん界のカリスマと呼ばれている。また、子宮がんを克服した体験記も離れたロングセラーになっており、健康関連の講演もこなす。子宮がんの手術後、ホルモンバランスが乱れることにより深刻な肥満に陥るが、独自のミネラル豆乳ダイエットで乗り越えてダイエット本も出版した。

●著書/「ミネラル豆乳ダイエット」「もつと身体美人」「きれいに暮らす石けん生活」「気持ちよく暮らす簡単家事生活」「エコロなココロ」「ゴミを出さない暮らしのコツ」ほか多数。

この漫画は、漫画家赤星たみこ氏が収集した情報に基づき展開した推理を作品にしたものです。神話や伝説はいろんな解釈や表現をすることができますので、昔から郷土に伝わる話を生かして、新しい文化を創ろうとする試みが可能になります。財団法人北郷町温泉観光協会では、これからも、こうした郷土の新しい魅力の創造に取り組んでいきたいと考えています。

北郷町は、平成21年3月30日に日南市及び南郷町と合併し、新「日南市」となります。大きな変革の時期を迎えようとしておりますが、宮崎観光の新時代の一翼を担っていくべく元気いっぱいでありたいので、皆さまにおかれましては、引き続き、「緑と清流と温泉の町」北郷町にご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※「財団法人北郷町温泉観光協会」はそのまま存続します。

住所表記が変わります。

旧：宮崎県南那珂郡北郷町大字郷之原乙1477

新：宮崎県日南市北郷町郷之原乙1477



撮影：和泉 直樹 (宮崎市)